

令和元年 11月 22 日

沼津市長 賴重秀一様

沼津市行政改革推進委員会

委員長 清水賢嗣



第3次沼津市行政改革プランの進捗状況及び内容の見直し等について（答申）

令和元年 5月 17 日付け沼企政諮問第1号で諮問のありました第3次沼津市行政改革プランの進捗状況及び内容の見直し等について、別紙のとおり答申します。

答 申

諮詢を受けた「第3次沼津市行政改革プランの進捗状況及び内容の見直し等について」は、下記のとおり答申する。

記

本プランの平成30年度の進捗状況については、取り組みの基本方針「特に重点を置いて取り組む改革」のうち、「リノベーションまちづくり事業の推進」について、計画的な事業進捗に加えて、目に見える実績も上がっており、市の内外に対してアピールできている点を特に評価するほか、概ね計画どおりに進められている。

一方で、「新中間処理施設整備事業へのPFI制度導入」等いくつかの個別改革において多少の遅れが見受けられ、事情により、進捗に遅れを生じることもやむを得ない案件もあるが、常に事業の完了時期を意識した取り組みに努められたい。

なお、各個別改革に対する「進捗状況に対する評価」と「進捗状況に対する意見等」については、別紙のとおりまとめたので、各改革責任部署において確認されたい。

今後も引き続き、各個別改革の計画どおりの進捗に努めるとともに、本プランの基本理念である「協働と連携によるまちづくりの推進」、「経営資源の確保及び最適活用の推進」及び「効率的かつ効果的な行政運営の推進」を目指し、更なる行政改革の推進を望むものとする。

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-1	公共施設マネジメント計画の策定及び推進		資産活用課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度に策定した「沼津市公共施設マネジメント計画」については、内容が充実しており、公共施設管理の中核をなす指針として十分なものであると評価する。 令和 2 年度までに予定している個別施設計画の策定に向けて、施設の再配置方針を、機械判定と施設所管課からの意見聴取の組み合わせの評価方法により決定するべく進めている点を評価する。 各施設評価における機械判定の採用について、統廃合検討の素地になると同時に、客観的な判断材料として、感情的な意見に対する説得材料となり得る点を評価する。 実行可能な個別施設計画を策定するためには、機械判定だけでなく、施設によっては所管課との調整も必要になるため、速やかに具体的な成果をあげられるよう、現時点で方針を固め、進められるものから実行に移していくことを提案する。 機械判定結果のみによる再配置方針の決定は、利用状況や地域の状況からスムーズに進まないことが想定されるが、一方で施設所管課との調整によっては、機械判定結果が反映されなくなる懼れもあり、機械判定結果をどこまで尊重すべきか慎重に判断したい。 機械判定結果が客観的な判断材料として有効活用されることは好ましいが、再配置方針及び個別施設計画の策定においては、市政の基本である市民サービスなどに考慮するとともに、外部委員による計画推進会議の意見等が十分反映されることを望む。 		
改革 No.	改革名	改革責任部署	
重-2	社会教育施設の抜本的な見直し	教育企画課	
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の減少を受けて、施設のあり方や効率的な運営について検討を進めている点を評価する。 文化、教育に関わることで判断に悩む点もあるとは思うが、「沼津市公共施設マネジメント計画」に沿った計画の推進に努めること。 経費削減を目指す指定管理者制度の導入については、指定管理の受け手がなく、制度の導入が困難であると判断したことはやむを得ないが、民間の視点に立って採算について考慮された、新たな方針を早急に検討されることを期待する。 市民の施設認知度が低いため、地域の文化や歴史資産をより分かりやすく伝えるなど、速やかな対策を図られたい。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-2-①	博物館等の抜本的な見直し		文化振興課
進捗状況に対する評価	C	多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の統合に向けた道筋が示された点を評価する。 芹沢光治良記念館における館内イベントの随時発信など、SNS等を用いた利用促進にも努めており、管理運営面での努力が見られる点を評価する。 検討に終始して具体的な方向性が示されていない。各施設の充実を図るためにも統廃合の検討を急ぐべきであるが、統廃合に至るまでには時間要するため、まずは利用者の増加に努めること。 利用者数と利用者層、学芸員数等を考慮するとともに、必要に応じて市民や利用者への意見聴取を行い、「沼津市公共施設マネジメント計画」との整合も図りつつ検討を進められたい。 それぞれの施設に、設置に至った経緯や関わる人のこだわりがあり、全ての意見を集約して結論を出すことはできないため、ある程度取捨選択をした集約も必要であると考える。 利用者の増加を目指して、広報ぬまづ7月1日号に掲載している施設の市民無料券の周知を図り利用を促すとともに、別の時期における掲載についても検討することを提案する。 沼津の歴史や文化は素晴らしいので、各施設に若年層にも足を運んでもらえるよう、「ラブライブ！サンシャイン！！」の集客能力をうまく活用するなど、認知度の向上に努められたい。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-2-②	青少年社会教育施設のあり方の見直し		生涯学習課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家は、民間事業者により INN THE PARK として事業を開始し、話題性もあり、沼津の新たな名所となりつつあることから、成功事例として評価できる。 ゆめとびら舟山は、運営において地元住民の協力が得られており、地元自治会への委託検討にあたっても、前向きに調整等進められている点を評価する。 施設のあり方の見直しにあたっては、利用者に対して交通手段等のアンケートを行うなど、ニーズの的確な把握に努めるとともに、利用者数や施設の経年劣化、地域の活性化、委託に係る経費などを総合した検討を行い、併せて「沼津市公共施設マネジメント計画」との整合を図りつつ進められたい。 ゆめとびら舟山の地元自治会への委託検討にあたっては、自治会の履行能力の有無についても、十分な検討を行うこと。 ゆめとびら舟山を、首都圏を含めた近隣の高校や大学のプラスバンド部などの活動に利用してもらうため、専門月刊誌への掲載による周知について提案する。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-3	学校教育施設の適正配置及び施設の再編		教育企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 戸田地区及び長井崎地区における学校教育施設の適正化について、児童生徒数の減少に応じたより良い学校教育の達成に向けて、地区推進委員会、保護者説明会、教育委員会と段階を経て、順調に課題の抽出と検討を行い、計画的に進められている点を評価する。 児童生徒数の将来予測を基に、速やかに統廃合方針を決定すると同時に、統廃合により生じる余剰施設等の活用についても、担当部署と連携して進められたい。 方針の決定にあたっては、単に児童生徒の数だけでなく、子供の教育に配慮した対応に留意するとともに、保護者や地域への説明も大切ではあるが、その対応により計画に遅滞が生じないよう、基準を設けて進められたい。 第二地区における小中一貫校化を含めた統合の検討にあたっては、統合後の学校の場所選定について、慎重な議論がなされることを望む。 門池地区における児童生徒数の増加に対しては、対策の早期検討を期待する。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-4	公共施設の会議室等の有効活用		資産活用課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 「沼津市公共施設マネジメント計画」の機械判定において、会議室等の利用状況を踏まえた施設評価を行った点を評価する。 平成30年度に会議室等の統廃合の検討・実施をするとした全体計画からは遅れを生じており、公共施設に付帯する会議室については、単独での議論は困難であるが、速やかに統廃合の計画を立て、その実現可能性について検討されることを期待する。 会議室等の有効活用における最適解を見出すことは難しく、「沼津市公共施設マネジメント計画」に基づく有効活用を図ることに加えて、まずはいくつかを廃止する検討を行うことを提案する。 会議室の利用促進と、市民の利便性向上を目指し、会議室を紹介する市のホームページについて、速やかな改善を望む。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-5	市営住宅の再編及び有効活用		住宅営繕課
進捗状況に対する評価	C	多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 「沼津市営住宅今沢団地建替基本構想」を計画通りに策定した点を評価する。 将来の入居対象世帯数を推計して管理戸数を予測し、計画に活かしている点を評価する。 市営住宅の多目的利用の方針検討が大幅に遅れているため、早急に遅延した原因を把握するとともに、関係各課との協議から課題の抽出を行い、達成目標年度を明確にすべきと考える。 市の財政状況や人口減少を考えると、老朽化対策として建て替えや修繕を行うより、費用や戸数の増減への対応の面から、民間住宅の借り上げを検討すべきと考える。 空き住戸対策としての優先入居制度の研究や、若者世帯向けの住戸改修の検討について、その進捗状況の可視化を進めることで、より積極的な進捗が図られるよう努められたい。 公が住宅を提供するという前時代的な役割については、見直すことも必要であると考える。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-6	香陵公園周辺整備事業へのPFI制度導入		香陵公園周辺整備室
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> PFIを活用して質の高い施設整備を目指している点と、当初の計画から若干の遅れは見られるものの、段階を経て着実に進捗している点を評価する。 事業者決定後のスケジュール管理が徹底され、体育館等の竣工予定に遅延がないよう努めるとともに、当該事業に対する市民の関心が高いことから、広報ぬまづや市ホームページを活用した、進捗状況の周知にも努められたい。 市民サービス面においては、全てをPFI事業者に委ねてしまうことはせずに、市主導で計画が進められることを望む。 規模も金額も大きな事業であるため、事業者の決定においては、事業者の資質に関して慎重な検討がなされることを望む。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-7	新中間処理施設整備事業へのPFI制度導入		新中間処理施設整備室
進捗状況に対する評価	C	多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元との協議を着実に進めている点を評価する。 ・ リサイクル施設との一括した管理を計画している点と、民間事業者の参入を推進している点を評価する。 ・ 現時点では地元の理解が得られたとは判断できず、また、今後建設時期を決定し、それに向けて様々な課題を解決する必要があることから、供用開始の時期について先行きが見えないと言わざるを得ない。 ・ 相手があることであり遅延を生じることもやむを得ないが、構造に不安がある現在の施設をこの先長期に使用することはできないため、際限なく遅延することのないよう、最終的な期限を意識した事業進捗も必要ではないかと考える。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-8	図書館の効率的運営体制の構築		市立図書館
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの普及に加え本離れが進む中で、利用者数と貸出冊数が増加していることについて、日ごろの努力を評価する。 ・ 地区センター図書室の利用者数と貸出冊数が増加している点と、自動車文庫のうち1台を廃止し、地区センター図書室の巡回等を行う配荷用車両を導入するなど、ニーズに合わせた柔軟な対応により、成果につなげている点を評価する。 ・ 繼続して改善に取り組むことで、図書館自体が充実しつつある点を評価する。 ・ 運営体制について、現時点で従来と大きな変化がないように見受けられるため、国の制度改革の内容を踏まえつつ、効率的運営体制の早期構築に努められたい。 ・ 観光やまちづくり分野への積極的な関与により、施設を地域コミュニティ形成の場へと変容させることで、幅広い年齢層の利用が図られるものと考える。 ・ 図書館と地区センター図書室の在り方について、年齢などの利用者属性を考慮して、すみ分けやサービスに違いを持たせるなどの検討を行い、全体的な利用者数の増加に努められたい。 ・ 利用者の意見や満足度を把握し、積極的に利用者の満足度向上に努められたい。 ・ 図書館の空きスペースの活用として、博物館等との統合についても検討すべきと考える。 ・ 将来を見据えて、電子書籍の貸し出しサービスについての調査、研究がなされることを期待する。 	

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-9	斎場への民間活力の導入		市民課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化に伴い、斎場サービスにおけるニーズの高まりが想定されることから、大型炉の導入など利便性の向上に努めている点を評価する。 ・ 大型炉の導入に伴うガス使用量増加の抑制など、現場における工夫により、経費削減や効率化を達成している点を評価する。 ・ 民間活力の導入において、積極的な動きが見受けられない。早い時期に、指定管理者制度の導入など民間活力の活用方法を見極め、管理運営方法を決定して進められたい。 ・ 民間活力の導入にあたっては、参入する事業者が専門事業者であったとしても、斎場施設が神聖なものであると捉えて、できれば公のものであって欲しいと願う市民もいることにも留意し、検討を進められたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-10	都市公園管理業務への民間活力の導入		緑地公園課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「沼津市パークマネジメントプラン」の展開として、豊町公園における協定締結や、門池公園でバーベキューができる新たな事業の実施など、一つずつ着実に進んでいる様子が見られる点を評価する。 ・ 公園は地域住民のコミュニティ形成の場でもあるため、今後の他の公園での進捗についても期待する。 ・ 都市公園としてのストック効果の最大化を目指して策定した、「沼津市パークマネジメントプラン」に基づき、具体的な事業が計画的に進捗されることを望む。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-11	静岡県住宅供給公社への市営住宅管理業務等の委託化		住宅営繕課
進捗状況に対する評価	C	多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託方法検討におけるロールモデルとしては、小山町や富士市といった近隣市町だけにとどまらずに事例研究を行い、早期に効果が見込める委託方法を決定し、実施につなげることを望む。 ・ 委託先の選択肢として公社以外の候補がないか、委託以外の方法により効率化を図ることができないか、十分な検討をされたい。 ・ 委託化に向けた検討を始めるも、いったんは断念し、また検討を始めるといった姿勢は、一貫性を欠き、方針にも具体性が見られない。方針の転換は、十分な検討がなされていなかつたものと捉えられかねないため、今後については慎重な検討を望む。 	

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-12	まちづくりファンドの活用		地域自治課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 単年度にとどまらない継続的な支援体制の整備は、市民や事業者にとってチャレンジしやすい環境を生み、そのチャレンジにより起きた事業による効果が市民に還元されることは、望ましい姿であり評価できる。 ファンド事業の採択件数は順調な推移を見せており、多くの取り組みが実現して良い結果が出ていることで、まちが明るくなっている印象を受ける点を評価する。 民間自立による持続可能な活動に成長させることの実現が課題である。まちづくりにおいて市民にメリットがある事業であっても、事業や団体の継続性という点においては、補助金交付時の活動では意味がなく、交付終了後も継続して活動を維持できるかどうかが重要であり、活動発表会に加えて、コーディネーターによる支援など、事業や活動を繋いでいくサポートが必要であると考える。 より積極的なPRに努めると同時に、将来的な市民の市政への参画を目指して、高校生など若年層に対して事業を紹介する機会を設けることを提案する。 事業件数の増加は、意図的か否かによらず、不適切な内容や処理を生じさせる可能性が高まることから、より綿密にフォローやチェックが行われることを望む。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-13	リノベーションまちづくり事業の推進		まちづくり政策課
進捗状況に対する評価	A	計画以上の進捗状況である。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 短期的、長期的なものも合わせて、多くの実績をあげている点を評価する。今後も継続的な取り組みに期待する。 市の内外に対してアピールできる、目に見えるまちづくりであり、細かい部分に至るまでよく考えられている点を評価する。 計画も含めて確実に取り組んでいる様子がうかがえるが、この先エリア価値の向上につながる本格的な取り組みへと発展することを期待する。 1件あたりの規模は小さく、全体としての経済効果も限定的と思われるが、この取り組みにおいては、規模にこだわらず現状の延長として推進し、結果として市民全体で応援できるような規模の取り組みへと昇華することを期待する。 リノベーション事業の取り組みが、まちや道路公園等の公共空間にも連鎖し、町なみが統一感のあるデザインとなって、例えば駅から港を結ぶ道が魅力的なものになるなど、更なる発展につながることを期待する。 これから起業や事業化を目指す方を対象として、スクールやシンポジウムなどを継続的に開催し、成功事例だけでなく失敗事例も紹介した中で、機会の拡充に努められたい。 一部の市民のイベント的なものになってしまわぬよう、これまで以上の情報発信に努め、一般市民を巻き込むような環境整備がされるよう期待する。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
重-14	SNSや新たなツール等を活用した市政情報の効果的な発信		広報広聴課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> SNSを積極的に活用した広報活動や、Instagramを使用したキャンペーンの展開など、市民が興味を持って参加したくなる動機づくりを行っている点を評価する。 市民意識調査などを実施し、各年代に応じた広報手法の採用や、発信内容に若者が興味を引くものを取り入れるなど、様々な工夫が見られる点を評価する。 ツールごとの利用者数の年度目標設定と、年代別の利用傾向調査や実施したキャンペーンの効果測定が実施されることを望む。 スマートフォンを持っていない方や、SNSの使い方がよくわからない方が試用できる場の提供など、市民が有効性を感じられるきっかけづくりについて、検討されたい。 SNSによる発信は費用対効果が高く、市民への情報発信に加えて、観光への寄与も大きいことから、「ラブライブ！サンシャイン！！」の活用など、積極的な発信に期待する。 SNSの活用においては、発信する情報の正確性や即時性の確保に加えて、受信する市民の視点から外れて自己満足とならぬように留意されたい。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
重-15	効果的な広報戦略の推進		広報広聴課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> LINE@の導入など、新たな試みに積極的に取り組んでいる点を評価する。 職員に対する広報研修の充実により、報道機関への投げ込み数や、Facebook の「いいね」が増加したことは、広報戦略の結果として評価できる。 自主研究グループ「伝える力研究会」を設置し運営している点を評価する。 市民意識調査を定期的に実施して市民の意見を聴取し、市民への市政発信を行うとともに、市外住民に向けた広報戦略にも努められたい。 研修受講者への継続的なフォローを実施するなど、職員全員が広報マンとしての意識を持つような取り組みに努められたい。 LINE@導入後の登録者数は、キャンペーンの効果や関係者の一斉登録によるものと思われるが、登録者数をはじめとして、広報戦略の推進における数値目標を設定して取り組むことを検討されたい。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
主-1	未利用資産の活用		資産活用課、政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画に基づき、確実に計画が進められており、売り扱い収入も目標とする金額を達成できている点を評価する。 公共施設の統廃合等により未利用資産は今後増加することが見込まれるが、関連する部課と連携し、未利用資産の効率的な活用を検討されたい。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-2	ふるさと納税の推進		観光戦略課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度より 4,284 件増加が見られた点を評価する。 「ラブライブ！サンシャイン！！」関連の活用等により、寄附金額が増大した点を評価する。 ポータルサイトの増設、出展、「ふるさと納税応援隊長」など広告等の手段を有効に活用し成果を出している点を評価する。 一層競争が増すジャンルであるため、新たな優良地場産品の発掘を含め、また沼津ならではの体験等、魅力ある返礼品を検討されたい。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-3	収納対策の推進		財政課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> P D C A サイクルにより、目標達成・不達成の原因を分析し、継続的に業務改善を図っている点を評価する。 公平性の観点から重要な業務、かつ精神面の負担などもある大変労力がかかる業務であるが、債権管理委員会の有効活用により、収納率の改善、債権確保に努められたい。 		
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-4	有料広告事業の推進		政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を超える実績となっている点を評価する。 広告媒体の新規 2 件など、成果が出ている点を評価する。 地元企業に対する広告主募集の周知、広告事業に関するニーズの把握に努めるとともに、新規広告媒体の発掘を検討されたい。 		

改革 No.	改革名		改革責任部署
主-5	水道事業の経営健全化		水道総務課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 全体計画、年度計画どおり進められている点を評価する。 給水人口の減少を踏まえて経営の健全性が維持されるよう、具体的な指標をもつて、長期的な整備更新計画のもと事業進捗を図られたい。 「おいしい水を安く提供する」ことに引き続き努められたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-6	下水道事業の経営健全化		水道総務課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 下水道管布設について、ほぼ計画通りに進捗している点を評価する。 普及率増加への阻害要因はあるが、適正な汚水処理を維持するため、取り組みを継続されたい。 今後の未利用地の売却に向けた入札や売り払いについて検討されたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-7	市立病院のあり方に関する抜本的な見直し		病院管理課、政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 評価委員会の設置、有料広告事業導入、電気料の入札などを実施し、収支改善が行われている点を評価する。 内部外部の評価等を的確に実践し、病院改革に取り組んでいる点を評価する。 閉鎖診療科再開のための医師確保と、7対1看護体制維持に向けた看護師採用の周知について、実施を予定している点を評価する。 「沼津市立病院新改革プラン」の早期実践により、安定した経営に努められたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-8	財務書類等の作成と利活用		財政課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 公会計を積極的に導入し、収支のみならず財産状況の把握にも役立てている点を評価する。 分かりやすい財務諸表とするため、市民の意見等を聴取して、更なる改善に努められたい。 	

改革 No.	改革名		改革責任部署
主-9	市政への市民参画機会の拡充		地域自治課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 女性登用率は年々上昇し、目標値がクリアできている点を評価する。 附属機関及び懇話会の一覧を掲載している点を評価する。 公募登用率をアップさせる手法を検討されたい。 職員への研修だけでなく、市民の意見聴取などから、他の手法も検討されたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-10	若者や女性の社会参画の推進		生涯学習課、地域自治課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画事業講座を実施した4地区において、フォローアップも行われている点を評価する。 社会参画意識啓発事業、セミナーなどの計画を着実に遂行できている点を評価する。 男性育児休業を推進する企業への補助金など、環境作りは重要なテーマであるため、他市町をリードする取り組みを検討されたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-11	クラウド化の推進		情報システム課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 事故なく円滑に運用されている点を評価する。 コストも重要であるが、セキュリティーについては慎重な対応・対策に努められたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-12	マイナンバーの利活用		情報システム課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> 児童手当制度のオンライン申請は評価する。 国の施策（保険証との連携など）と合わせてマイナンバーカードの普及に努められたい。 マイナンバーカードの利用拡大が課題であり、まず、市職員のマイナンバーカードの普及率向上に努められたい。 個人情報の保護と情報の利用とのバランスを取りながら、独自利用による市民の利便性の向上、事務の効率化に努められたい。 	

改革 No.	改革名		改革責任部署
主-13	納税手段の拡充		納税管理課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子化、ITの利用により、収納業務の効率化が進められている点を評価する。 ・ 自治体にとって重要な「収入源」であり、様々な徴税手段を用意しようとしている点を評価するが、住民にとっても利便性が向上するサービスとなるよう努められたい。 ・ キャッシュレス化に向け、納税手段の拡充に努められたい。 ・ 納税について、具体的な仕組みを中学生、高校生、大学生が学ぶ機会を提供することにより、社会人として収入を得たときの理解促進に努められたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-14	市民課発行証明書のコンビニ交付の導入		市民課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付実績が増加している点について、市民の利便性向上として評価する。 ・ 利用方法の周知などにより利用数の更なる増加に努められたい。 ・ マイナンバーカードの普及がなければ、コンビニでの証明書発行を増加させることはできないので、関連部署と連携し、マイナンバーカードの普及方法を検討されたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-15	定員管理計画に基づく職員数の適正化		人事課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ職員数を減らすのではなく、見直し等で生み出された人員を新たな行政需要に再配置している点を評価する。 ・ AIを使った業務の効率化により、近い将来、職員数の削減等が考えられるので、それに備えた調査研究に努められたい。 ・ 定期的に定員管理計画を見直すなど、職員が理解できる計画を策定し、計画的かつ合理的な定員管理の継続に努められたい。 	
改革 No.	改革名		改革責任部署
主-16	給与等の見直し		人事課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 安易な公務員給与の削減は、人材確保の妨げになる可能性もあり、AI導入などによる人員削減にも努められたい。 	

改革 No.	改革名		改革責任部署
主-17	組織体制の見直し		政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画通り進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点実施する組織について確実に組織を構築している点を評価する。 ・ 市民が必要とする組織、市民が一目見て何をする部署なのかが分かるなど、市民目線の組織体制を構築に努められたい。 		